

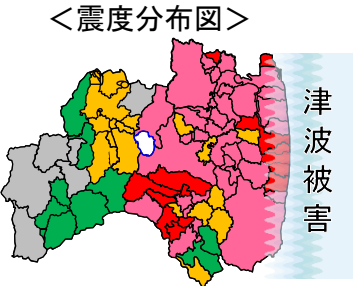
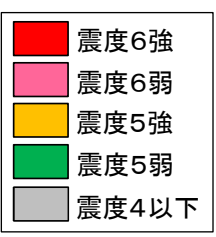
福島県の被害状況

地震・津波被害 死者3,873人。浜通りを中心に甚大な被害。内陸部も倒壊家屋多数。

<被害状況> (平成28年5月30日現在)

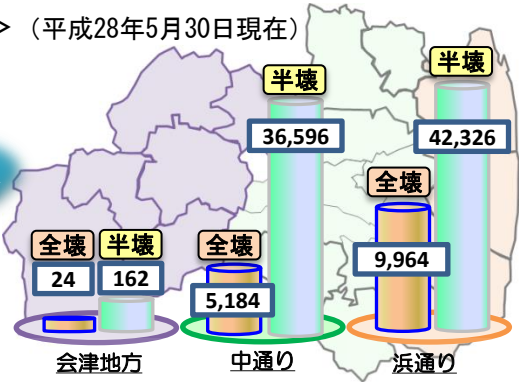
- ◆死者：3,873人
(うち、震災関連死※2,045人)
- ◆行方不明者：3人

※震災関連死とは、地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。



<家屋被害の状況> (平成28年5月30日現在)

- ◆全壊：15,172棟
- ◆半壊：79,084棟

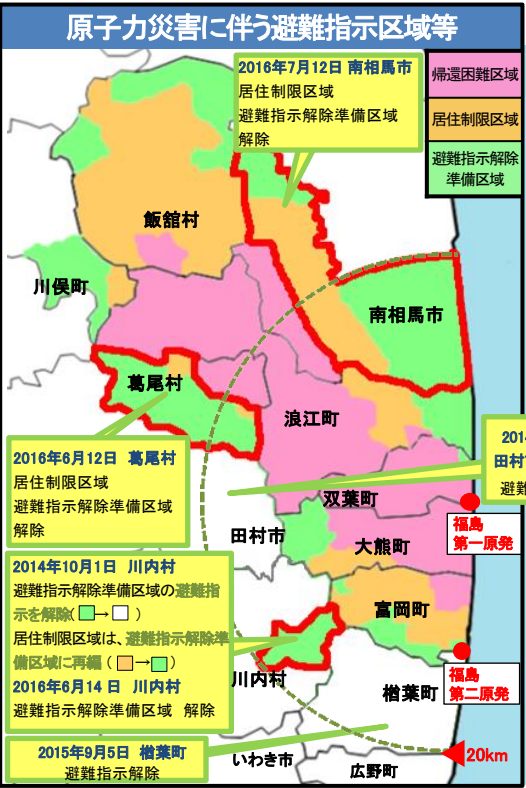


<災害廃棄物の処理状況> (平成28年3月末現在) (単位：千トン)

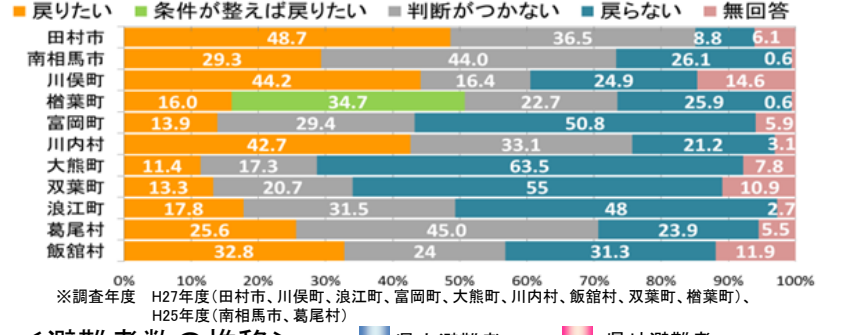
方部	発生見込量	仮置場搬入量	処理・処分量
浜通り	2,925	2,666 (91.1%)	2,122 (72.5%)
中通り	1,056	1,042 (98.7%)	1,040 (98.6%)
会津	19	19 (100.0%)	19 (100.0%)
合計	4,000	3,727 (93.2%)	3,181 (79.5%)

【出典】福島県一般廃棄物課調べ

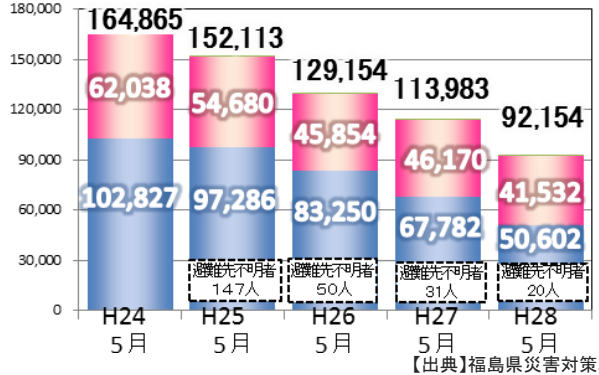
避難等の状況 平成28年5月現在の避難者数は9万2,154人(県内約5万人、県外約4万1千人)。



<復興庁・県・市町村による住民意向調査の結果(帰還意向)>



<避難者数の推移> (単位：人)



【出典】福島県災害対策本部 公表資料

<福島県の人口推移> (単位：人)

	世帯数 (単位：世帯)	人口		
		男性	女性	
H23.3.1	721,535	2,024,401	982,427	1,041,974
H28.5.1	740,977	1,903,704	940,991	962,713
増減	19,442	▲120,697	▲41,436	▲79,261

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

<子ども(18歳未満)の避難状況> (単位：人)

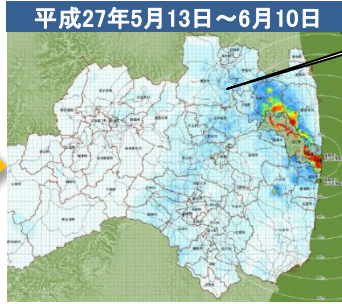
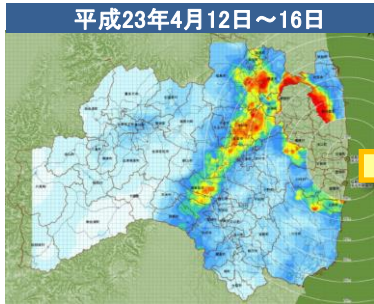
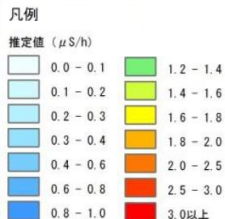
	H24.10.1	H27.10.1	増減数	
18歳未満避難者数	30,968	22,660	▲8,308	
県内	避難元市町村内	3,307	2,716	▲591
	避難元市町村外	10,691	9,387	▲1,304
県外	16,970	10,557	▲6,413	

【出典】福島県子ども・青少年政策課調べ

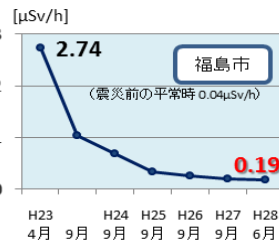
福島県の主な取組状況

除染 県内の空間放射線量は低下傾向。住宅除染は着実に前進。

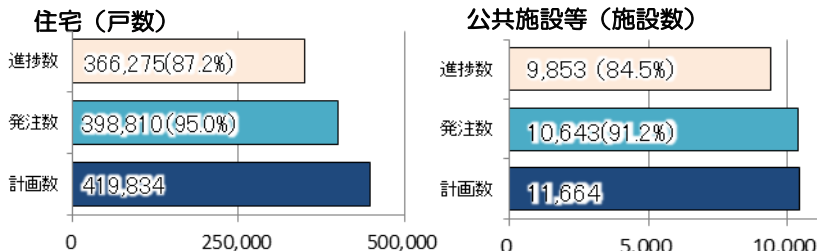
※帰還困難区域で走行サーベイを実施。



福島市の例



<市町村除染地域における除染の実施状況> (H27.4月末時点)



【参考】住宅除染の進捗数(累計)の推移 (万戸)



健康調査 将来にわたり県民の健康調査を実施。甲状腺検査はH25年度までに先行検査(1次検査)を終了。

<甲状腺検査>

震災時18歳以下等の子ども約38万人を対象
→先行検査は約30万人が受診
平成26年度から本格検査を実施中



<内部被ばく検査>

県実施分の累計検査人数 282,688人
(平成23年6月～平成28年3月)

預託実効線量*

線量	人数(人)
1mSv未満	282,662
1mSv	14
2mSv	10
3mSv	2



判定結果	判定内容	先行検査		本格検査	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
A判定	A1 結節や嚢胞なし	154,606	99.2	89,565	99.2
	A2 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞	143,576		128,704	
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞	2,293	0.8	1,819	0.8
C判定	直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0

※先行検査:平成23～平成25年度、本格検査:平成26年度～

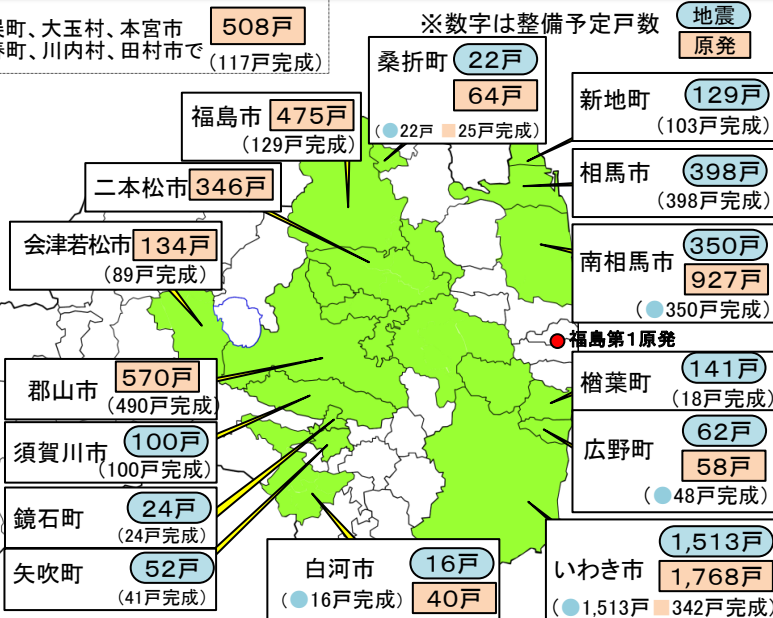
※概ね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量

住環境整備 原発避難者向け復興公営住宅を4,890戸整備予定。

<復興公営住宅等の整備計画>

下記の他、川俣町、大玉村、本宮市 508戸
三春町、川内村、田村市で (117戸完成)

※数字は整備予定戸数



インフラ復旧 復旧工事は97%着手、全体の83%が完了！

＜公共土木施設等災害復旧工事の進捗＞（平成28年4月末日現在）

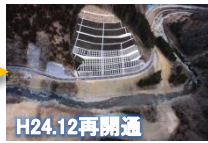
公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		見直し ※帰還困難 区域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,126	2,052	97%	1,765	83%	
河川・砂防	271	264	97%	237	87%	H31年度
海岸	156	154	99%	62	40%	H31年度
道路・橋梁	798	787	99%	746	93%	H30年度
港湾	331	315	95%	296	89%	H29年度
漁港	473	435	92%	327	69%	H30年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

地域別進捗状況

地域	査定決定数	完了率
会津	26件	完了100% (26件)
中通り	534件	完了100% (534件)
浜通り	1,566件	完了77% (1,205件)

0% 100%
 施工中18% (287件) 未着工5% (74件)

道路復旧の様子



防災緑地整備の様子



【参考】避難指示区域内の進捗状況

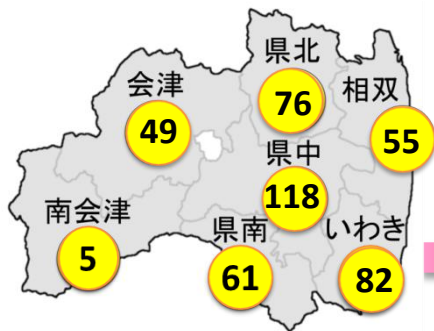
避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

区域	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
		着工率 (%)	完了率 (%)		
避難指示区域内	344	296	86%	190	55%

産業振興 企業立地補助金による支援等で工場の新増設が増加！

＜企業立地の状況＞

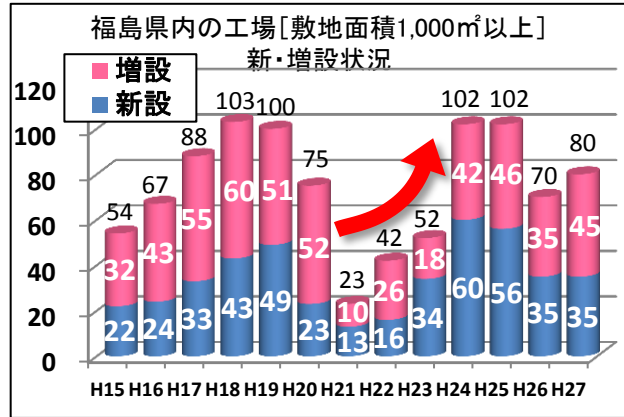
ふくしま産業復興企業立地補助金 **446社** を指定
 （平成27年12月現在）



＜指定を受けた主な業種＞

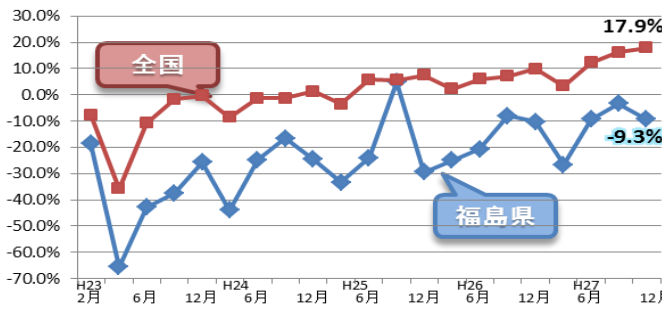
- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

**5,305人の
雇用創出見込み**



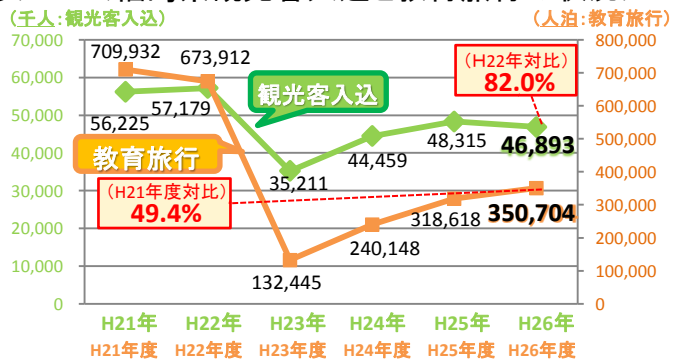
観光再生 平成28年4月～6月より「福が満開、福のしま。」福島県観光キャンペーン2016(アフターDC)を開催中！

＜観光客中心の施設における実宿泊者数(人泊)の推移＞ 実宿泊者数についてH22年同月と比較



【出典】観光庁 宿泊旅行統計調査、福島県観光交流局・福島県観光物産交流協会

＜福島県観光客入込と教育旅行の状況＞



全国新酒鑑評会4年連続日本一

平成28年5月18日、日本酒の蔵元が新酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」において、県内蔵元の18銘柄が金賞に選ばれ、4年連続の日本一を達成しました。福島県の金賞受賞数1位は通算6回目となります。



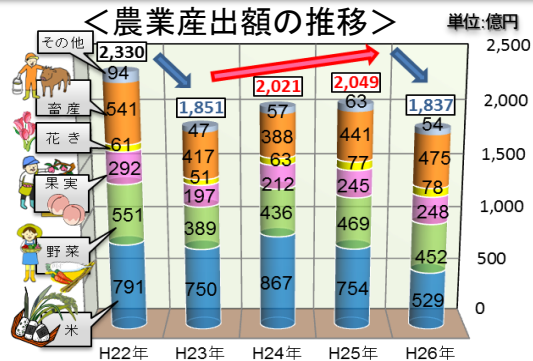
大型観光キャンペーンを実施

ふくしまDC 平成26年4月～6月
 ふくしまDC 平成27年4月～6月
 ふくしまアフターDC 平成28年4月～6月

福島県の酒蔵等をまわる食めぐりや、花めぐり、湯めぐりといった周遊企画の実施など、継続した観光誘客の促進につなげていきます。



農業再生 コメの全量全袋検査や県産農林水産物のモニタリング等を通じて安全・安心な農林水産物を提供！



※ 米については、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。
 ※ 項目毎の四捨五入により年計との各項目の総和は一致しない。【出典】農林水産省 生産農業所得統計より作成



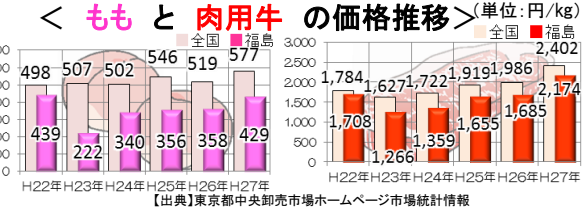
県産農林水産物のモニタリング状況(H27.4~H28.3)

検査結果をHP等で公表。基準値超過は流通させない！

種別	検査数	基準値超過数	超過数割合
※1玄米(H27年産)	約1,048万件	0件	0.00%
野菜・果実	4,585件	0件	0.00%
畜産物	4,562件	0件	0.00%
栽培きのこ	758件	0件	0.00%
山菜・野生きのこ	804件	7件	0.87%
水産物	9,215件	※2 7件	0.08%

※1「玄米」のみ全量全袋検査結果(H27.8~H28.3) ※2水産物の7件については全て河川のもの

福島県を代表する農畜産物



県内全域の全ての米袋を検査 [米の全量全袋検査]



拠点整備 復興の推進力となる研究開発・産業創出拠点を各地に整備！

ふくしま国際医療科学センター

(医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター)

H28年秋 完成予定

福島市

医療界と産業界の橋渡し役として、がんを中心とした新規治療薬・診断薬・検査試薬などの創薬拠点を整備。

場所 福島市(県立医科大学)
開所 平成28年秋の開所を目指す。

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

技術開発や人材育成を推進!

郡山市

国立研究開発法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。スマートシステム研究棟が平成28年4月1日に運用を開始。

場所 郡山市(郡山西部第二工業団地)
開所 平成26年4月1日開所

浜地域農業再生研究センター

H28.3/25 開所

南相馬市

避難地域等の営農再開、農業再生に向けた調査研究のための拠点を整備。

場所 南相馬市(旧濱浜ニュースポーツ広場)
開所 平成28年3月25日開所

浮体式洋上風力発電実証研究事業

世界最大級 “ふくしま新風” 運転開始

広野・楢葉沖 提供: 福島洋上風力コンソーシアム

浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

場所 広野・楢葉沖

稼働

- 【第一期】2メガワット風車 平成25年11月11日より運転開始
- 【第二期】7メガワット風車 (全高約200m) 平成27年12月26日より運転開始
- 5メガワット風車 平成28年7月に設置予定

会津大学復興支援センター (先端ICTラボ)

H27.10/1 供用開始

会津若松市

ICTを活用した地域産業振興を担う企業の集積や人材育成に取り組むとともに、先端ICT研究を推進し、新たなICT産業を創出するための研究開発拠点を整備。

場所 会津若松市(会津大学)
開所 平成27年10月1日供用開始

環境創造センター及び附属施設

H28.7/21 ラボオープン予定

モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流 平成27年10月27日開所

環境放射線センター(南相馬市) 平成27年11月16日開所

野生生物共生センター(大玉村) 平成28年4月25日開所

猪苗代水環境センター(猪苗代町) 平成28年4月15日開所

ふくしま医療機器開発支援センター

H28年秋 開所予定

郡山市

医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行うため、大動物を活用した安全性評価や医療従事者の機器操作トレーニング等を実施する拠点を整備。

場所 郡山市(旧農業試験場跡地)
開所 平成28年秋の開所を目指す